

# ふれあい ステージ

## おさらい会みんながんばりました



12月8日、妹背牛保育所でおさらい会が行われ、ホールには子どもの発表を見るため園児たちの両親や祖父母などたくさんのお客さんがつめかけました。特撮ヒーローや、お姫様の衣装を着て愛らしいお遊戯が披露されると手拍子や歓声。ステージ上で跳び箱や平均台など、子どもたちが自分の成長した姿を見せると、会場からはたくさんのお客さんが拍手が贈られました。最後は園児たちから「来てくれてありがとう」とあいさつで締めくくりました。

## 優しい歌声響き渡る

12月9日、わかち愛もせうしひろばで、青空自主保育とちのみ主催によるライブが行われました。前半は松下音次郎さんによる手品と紙芝居の披露。子どもたちは目の前で起こる不思議な現象に興味津々。コミカルな絵とセリフの紙芝居にはたくさんのお客さんが笑っていました。



後半には夫婦で音楽活動をしている「じゅんぎとめい」によるライブ。優しい歌声、ギターの音色が会場内に響き、最後には集まったたくさんのお客さんから拍手が送られました。

## わかち愛介護劇大盛況

11月18日、町民会館で妹背牛町民劇団による介護劇「しゃぼん玉2」が上演され、町内外から約300名が訪れました。認知症患者やその家族、少年院からグループホームに研修を受けに来た少年そして物語の要所に登場する座敷わらしにより物語が展開。笑いあり涙ありで、最後には涙を流しているお客さんもいました。脚本・演出を手がけた渡辺貞之さんは「町民劇団が6年も続くというのは実は簡単なことではありません。劇団員はみんな一生懸命で芝居も上手になりました」と講評しました。



## みんな上手にできました



11月27日、妹背牛小学校で郷土妹背牛祭が開催され、6年生がしめ縄づくりに挑戦しました。講師の神藤ツエ子さんの説明のもと、しめ縄づくりを始めますが児童たちはなかなか思い通りにならない稲わらに悪戦苦闘。民生委員や社会福祉協議会の方々の助けを借り、何とか作り上げると、それぞれ違った個性豊かなしめ縄が出来上がりました。神藤さんは「みんな覚えがよくて、上手に作ってくれました」と話しました。

## 健康に活動するために



12月3日、妹背牛消防庁舎で、消防団員健康づくりセミナーが行われました。このセミナーは、消防団活動中の脳血管疾患及び虚血性心疾患などの公務災害を防ぐため行われたもので、妹背牛消防団員40名が受講。前半は月形町役場産業課の渡邊隆さんを招いて生活習慣病や酒、たばこなど、健康増進教育についての研修が行われ、後半は健康運動指導士の唐牛拓郎さんの指導による健康増進のための運動実技が行われました。

## 1歳になりました

ことね  
江原 琴音 ちゃん



平成29年12月12日生まれ

パパとママ  
江原 久幸 さん  
まゆみ さん

お兄ちゃんと遊ぶことが大好きです。これからも、元気にすくすく成長してほしいです。

かなと  
関 奏和 くん



平成29年12月24日生まれ

パパとママ  
関 幸利 さん  
舞 さん

手をたたいたり、声をだしたり音楽が大好き♪我が家の癒し系です！

## 「ようこそ雪の妹背牛町へ」台湾の高校生がホームステイ

12月13日、修学旅行のため来日した台湾の高校生11名が妹背牛町を訪れ、1区の夏井坂聡さん宅ほか3件の農家にホームステイしました。一行は、国立鳳新高級中学の生徒たちで、特に雪の北海道での宿泊体験を楽しみにしていたとのこと。妹背牛町に着くと、さっそく夏井坂さん宅前のイルミネーションツリーの前で雪遊び。台湾ではあり得ない氷点下の気温にもかかわらず、粉雪をまき散らしながら生まれて初めての雪の感触を楽しんでいました。このあと、妹背牛温泉ペルで初の温泉体験。生徒たちは、ペル湯で冷えた体を温めながら妹背牛町での一夜を楽しんでいました。

